

テーマ

へこんでも折れない心を育てるには？



エピソード

あおいさんは小学2年生。授業では、はずかしくて、なかなか手を挙げる事ができません。

でもある日、思いきって手を挙げました。ところが、答えを間違っ
てしまい、とてもショックを受けています。

ワーク1

あなたがあおいさんの親なら、あおいさんにどんな声をかけますか。

ワーク2

あおいさんはそれを聞いてどのように感じると思いますか。

話し合いの後に、ワーク3をお書きください

ワーク3

これから、落ち込んでいる子どもに、どのように関わろうと思いますか。

子育てのヒント

ポイント

- ・ショックを受けている事実を共感して受け止め、自己肯定感を高める。
- ・人は失敗して成長する。間違えていい!次にどうするかを一緒に考える。

資料

○子どもの気持ちをそのまま素直に受け止め、自己肯定感を高める

- ・感じていることは事実なのでそれを否定しない
- ・一緒に共感し、ショックな気持ちを受け止めることで安心し、自己肯定感が回復していく
- ・大人は「あなたが大事だよ」というメッセージを

同情ではなく共感することで、信頼関係が深まり安心できる

○周りの評価ではなく、自分がどうだったかを大切にする

- ・今までできなかったことをできたあなたがすばらしい
- ・人にどう思われるかよりも、本人がどうだったかが大切

他者評価より自己評価を大切に



○間違いはこわくない。次にどうするか考え行動する習慣を

- ・失敗で多くのことを学んでいく。トライ&エラーを繰り返して成長する
- ・大人が子どもと一緒に作戦会議することで安心感や勇気が倍増

折れない心を育むには親の心の“ゆとり”が必要

○人に頼って、助けてもらう経験を積む

- ・つらい時、一人で抱えずにSOSを出せる人になることが大切
- そのためには、つらい時に相談し、人から助けられる経験が必要

親との信頼関係があれば、人を信頼できるようになる

- 参考文献
- ・子育てにおける子どもとの上手なかかわり方 吉弘淳一 著 (晃洋書房)
 - ・いつだって子どもがいちばん 三浦伸也 著 (自由国民社)
 - ・ヒルは木から落ちてこない。樋口大良+ヤマビル研究会 (山と溪谷社)